

令和元年度 事業報告

I. 事務報告

1. 会議

(1) 理事会

- ① 第1回：令和元年5月10日、小平市花小金井南町1-12-11、公益財団法人報農会事務所において開催され、下記議案が決議された。

第1号議案	平成30年度事業報告に関する件
第2号議案	平成30年度収支決算報告に関する件
第3号議案	育英費支給者に関する件
第4号議案	令和元年度定時評議員会開催に関する件
報告事項	・令和元年度就農希望者への奨学金受給申請の受け付けの状況 ・植物防疫に関する学術・技術の交流に関する援助申請の受け付けの状況 ・第34回報農会シンポジウムの準備の状況 ・理事長及び常務理事の職務の執行の状況

- ② 臨時：平成元年6月4日、北区中里2-28-10、一般社団法人日本植物防疫協会会議室において開催され、下記議案が決議された。

第1号議案	代表理事の選任の件
第2号議案	事務局の組織等について

- ③ 臨時：令和元年11月21日、小平市花小金井南町1-12-11、公益財団法人報農会事務所において開催され、下記議案が決議された。

第1号議案	専門委員会委員の選任に関する件
報告事項	・事業の進捗状況及び寄附金の状況

- ④ 第2回：令和2年3月12日に開催すべく準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症対策に係る国からの要請を受け会議は中止し、書面による決議がなされた。

第1号議案	令和2年度事業計画に関する件
第2号議案	令和2年度収支予算に関する件
第3号議案	役員報酬に関する件
第4号議案	第35回功績者表彰に関する件
報告事項	・第35回報農会シンポジウムの準備の状況 ・理事長の職務の執行の状況

(2) 評議員会

定 時：令和元年6月4日、北区中里2-28-10、一般社団法人日本植物防疫協会会議室において開催され、下記議案が決議された。

第1号議案	平成30年度事業報告に関する件
第2号議案	平成30年度収支決算報告に関する件

- 第3号議案 評議員並びに理事及び監事の選任に関する件
報告事項
- ・第34回功績者表彰の選考の状況
 - ・令和元年度育英費受給申請の受け付けの状況
 - ・令和元年度就農希望者への奨学金受給申請の受け付けの状況
 - ・植物防疫に関する学術・技術の交流に関する援助申請の受け付けの状況
 - ・第34回報農会シンポジウムの準備の状況

(3) 監査会

平成31年4月19日、小平市花小金井南町1-12-11、公益財団法人報農会事務所において平成30年度事業並びに収支決算について監査を受けた。

2. 役員

令和2年3月31日現在の役員及び評議員は、別紙役員及び評議員等名簿のとおりである。

II. 事業報告

1. 植物防疫に関する学術・技術分野における専門家の育成

(1) 育英費の支給

次の5名の大学院生に対しそれぞれ年額36万円の育英費を支給した。

- 大崎 晴菜（弘前大学大学院農学生命科学研究科修士課程・指導教員：山尾 僚）
研究テーマ『宿主植物の競争環境が植食者の餌選択に与える影響の解明』
- 服部 暉（筑波大学大学院生命環境科学研究科博士後期課程・指導教員：山岡 裕一）
研究テーマ『コムギ赤さび病菌が形成するグリーンアイランド現象の形成メカニズムの解明』
- 早野 敬大（岐阜大学大学院自然科学技術研究科修士課程・指導教員：景山 幸二）
研究テーマ『河川に生息する植物病原性卵菌類の分布に関する研究』
- 足助聡一郎（神戸大学大学院農学研究科博士後期課程・指導教員：土佐 幸雄）
研究テーマ『オオムギ・コムギといもち病菌菌群の特異性進化機構の解明』
- 内藤 圭吾（鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程・指導教員：上中 弘典）
研究テーマ『植物の病害抵抗性を誘導する新素材キチンナノファイバーの作用機構の解明』

(2) 就農希望者への奨学金の贈呈

次の4名の農業大学校在生に対し優秀賞は10万円、奨励賞は5万円の奨学金と賞状をそれぞれ贈呈した。

優秀賞

- 大木 蛍（山口県立農業大学校・指導教員：白石 千穂）
研究テーマ『天敵を利用した環境にやさしいキュウリのIPM技術導入による経済性評価』

奨励賞（以下3名）

○中川 葉月（北海道立農業大学校・指導教員：石川 弘大）

研究テーマ『夏秋どりいちご栽培における天敵を活用したアザミウマ類の防除』

○伊藤 亜実（茨城県立農業大学校・指導教員：仲野 孝仁、荒井麻起子）

研究テーマ『トマト連作圃場における高接ぎ木法及び土壌消毒によるトマト青枯病の発病抑制効果と経済性の検討』

○佐々木陽奈子（なら食と農の魅力創造国際大学校・指導教員：鳥居名実子）

研究テーマ『IPM 取組圃場でのナスの仕立て方によるウドンコ病発生率、収量、品質の比較』

2. 植物防疫に関する学術・技術の交流

国際会議出席者に対する援助

次の2名に渡航費の一部としてそれぞれ15万円を援助した。

○井上加奈子（大阪大学超高压電子顕微鏡センター・講師）：第8回欧州生物学者会議（令和元年7月7日～11日、英国・グラスゴーで開催）

○大崎 晴菜（弘前大学大学院農学生命科学研究科・修士課程2年）：第23回進化生物学会（令和元9月24日～27日、フランス・マルセイユで開催）

3. 植物防疫の発展に寄与した功績者の表彰

（1）第34回功労賞の贈呈

令和元年9月25日に「北とぴあ」天覧の間（北区王子）で表彰式を開催し、次の3氏に功労賞（賞状、正賞、副賞）を贈呈した。

藤家 梓、藤崎祐一郎、松中謙次郎

（2）第35回功労賞受賞者の選考

令和2年2月5日開催の功績者表彰候補推薦委員会において、次の候補者5名を選考した。

里見 健男、瀬崎 滋雄、中田榮一郎、那波 邦彦、橋本 光司

4. 植物防疫に関する第34回公開シンポジウムの開催

『植物保護ハイビジョンー2019』“わが国農業の持続性と植物保護（国内・世界の趨勢に挑む技術とシステム）”を令和元年9月25日に「北とぴあ」つつじホール（北区王子）で開催した。（参加者約250名）

講演

- 農薬取締法の改正について 農林水産省農薬対策室 石岡 知洋
- ドローンを用いた防除の展望 DJI JAPAN(株) 岡田 善樹
- 生物的防除を基幹としたIPMへの移行とその意義 宮崎大学農学部 大野 和朗
- GAPを利用した茶の経営改善の取り組み

—GAPを活用したリスク管理— 埼玉県茶業研究所 小川 英之

—狭山茶にGAPを「活かす」— (有)東阜 狭山茶 横田園 横田 泰宏

総合討論

公益財団法人 報 農 会
役員及び評議員等名簿

令和2年3月31日現在

理事長	田付貞洋	評議員	大澤貫寿
理事	中村幸二	〃	阪本剛
〃	藤田肖子	〃	館野洋一郎
〃	堀江博道	〃	寺岡徹
監事	上山功夫	〃	原田孝則
〃	大森茂	〃	與語靖洋
顧問	岩本毅	(五十音順)	
〃	永田徹		
事務局長	小島恒夫		